

## オルビス、環境保全活動の海外支援先であるフィジーの子供たちと交流 ～今年で10年目となるオイスカ「子供の森」計画への継続支援～

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:町田恒雄)は、2002年から公益財団法人オイスカ(本部:東京都杉並区、代表理事:中野利弘)の「子供の森」計画(※)を通じてフィジー共和国の子供たちの環境教育を兼ねた環境保全活動への支援を継続しており、10年目を迎えた本年5月18日(金)、フィジー共和国の子供たち及び関係者の表敬訪問を受けました。



ショップにて商品の説明を受けるレアピちゃん(12歳)



社長・町田恒雄(左から3番目)と記念撮影

今回、来日したフィジー共和国関係者は支援先の学校生徒2名(男女各1名ずつ)、関係者2名(教師及びオイスカ現地コーディネーター)の計4名で、当日は、オルビスへの理解を深めてもらうために訪問団一行を「オルビス・ザ・ショップ アトレ大森店」に案内し、オルビスの世界観や商品に触れてもらいました。その後品川区の本社に移動し、オルビスから、社長の町田による歓迎のご挨拶や、会社概要、環境保全活動への取り組みなどを説明しました。また過去2002年、2008年と2度にわたって従業員が同国に渡航し子供たちとの交流や植林活動を行った様子をビデオ映像で紹介しました。

フィジー関係者やオイスカからは、現在の同国の「子供の森」計画の進捗状況の説明を受け、同国で植林したマングローブ等が厳しい環境下にありながらも順調に育成が進んでいる様子をうかがい知ることができました。

今回、来社したレアピちゃん(12歳・女)は「今回、来日していろいろなプログラムに参加できて日本のことをたくさん知ることができた。環境保護活動の重要さも学んだ」と感想を語っていました。

オルビスは1984年の創業当時より「地球に生かされている私たち」という考えのもと、事業活動において様々な環境負荷低減の取り組みを行ってきました。2002年からは公益財団法人オイスカと協働で国内外の植林を中心とした環境保全活動を展開。海外では「子供の森」計画を通じたグローバルな支援とともに特定支援国としてフィジー共和国を選定、2002年と2008年の2度にわたり実際に従業員が同国に渡航し、子供たちや地元関係者との交流、マングローブ植林などを行っています。

オルビスは今後もこのような活動・支援を通じて、地球環境保護に貢献してまいります。

### ※ オイスカ「子供の森」計画について

子供たち自身が、学校の敷地や隣接地で苗木を育てることで「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら地球の緑化を進めていくプログラムです。



【本件に関するお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室 (担当:小川)

Tel 03-3563-5540/Fax 03-3563-5543

## 参考資料

### 【公益財団法人オイスカ概要】

代表者名 : 理事長 中野利弘  
本部所在地 : 東京都杉並区和泉 3-6-12 TEL : 03-3322-5161  
創立 : 1961年10月6日  
主な活動 : 海外では農業を基本とした村づくりや人材育成、植林などの環境保全活動を実施。  
また、国内においても学校林活動や森づくり活動を積極的に取り組んでいます。

### 【オルビスの環境保全活動について】 ※全てオイスカと協働

#### 1) 山梨県甲府市「武田の杜」環境保全活動[2002年4月～2007年8月]

市民の憩いの場となっている「武田の杜」が虫害によりダメージを受け、整備事業の一環として5回の植林を実施。現在も夏に下草刈りなどのメンテナンスをボランティアで実施しており、四季折々の植物を楽しむ憩いの森となっています。

\*植林本数:6,990本(約3ヘクタール)

\*「行政」「NGO」「企業」が三位一体となった環境保全活動のパイオニアとしての功績を称えられ、2006年に山梨県知事より感謝状をいただきました。

#### 2) 「富士山の森づくり」プロジェクト[2007年5月～現在(植林活動は2011年5月まで)]

2002年に病虫害の大規模被害を受けた富士山麓に広がる約100haの人工林(山梨県鳴沢村)を、人の手で自然に近い形で森林に再生する壮大なプロジェクト。オルビス以外にも複数の企業・団体が参加しています。

\*植林本数:約5,000本(約5ヘクタール)

#### 3) 「甲州市オルビスの森」プロジェクト[2012年4月～]

2011年に山梨県甲州市と、同市に広がる約100ヘクタールの森林を里山として整備する協定を締結。2012年4月14日(土)、記念すべき第1回の活動イベントが開催され、従業員や家族など約80名がボランティアとして参加し植林を行いました。



### 【その他の環境配慮】

オルビスは商品でも創業以来、「余分なものをお届けしない」「化粧品までお化粧する必要はない」という信念のもと、ピロー包装に象徴される簡易包装・詰替え用商品の発売など徹底した環境負荷の低減を目指しています。

特に詰め替え用商品容器の環境負荷(ライフサイクルにおけるCO2排出量)は測定の結果、ボトル品の約1/10であることを確認しています。(2011年9月16日リリース発表済み)

